

## 平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から 28年3月31日まで

## 特定非営利活動法人女性技術士の会

## 1 事業の成果

科学技術発展のための普及啓発事業及び女性の職域に関する普及啓発活動では、教育機関の要請に応じ職域紹介に関する講座への講師派遣の協力、「女子中高生夏の学校」（夏学）などのイベントへ参画しパネル展示や理系の仕事の啓発冊子「理系の仕事って？（改訂版）」を配布し、科学技術発展のための普及・啓発に努めた。

国際会議における交流事業では、INWES-J（国際女性技術者・科学者ネットワーク日本支部、現JNWES）の運営に参画している。平成27年度は、APNN（Asia & Pacific Nations Network：開催地ウランバートル）、日中韓女性科学技術指導者フォーラム（開催地ソウル）においても発表を行った。日韓女性技術士交流会（開催地チュンチョン）も継続している。

高専機構主催の行事「高専女子フォーラム」の後援、他団体との協働、東日本大震災被災地域の学生を対象にした支援事業も引き続き展開した。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
科学技術発展のための普及啓発事業	冊子「理系の仕事って？」改訂版の制作	4-7月	都内	6名	女子中高生不特定多数	74
	技術サロンへの協力 ー技術者を目指す理工系の女子学生や女性社会人を対象として、女性技術士と女性の職域やキャリア形成に関する意見交換の実施	6月20日 9月19日 12月12日 3月12日	都内	各回10名	毎回10名程度	0
	震災復興支援事業の一環として、理工系女子学生を女性の職域シンポジウムに招待	11月28日	都内	ー	2名	40
仕事と生活の調和を目指した社会基盤整備啓発事業	ICWESで行ったワークショップのこれまでのまとめと分析を行い発表	5月	ウェブサイト	5名	一般不特定多数	0
女性の職域に関する啓発事業	「女子中高生夏の学校」への参画	8月7日	独立行政法人国立女性教育会館（埼玉）	9名	女子中高生及び教員・保護者約150名	10
	シンポジウム開催「女性技術者とワークライフバランス」	11月28日	都内	6名	女性技術者21名	53

	ポートフォリオVol.2の増刷	3月	—	6名	300名	175
国際会議における交流事業	JNWES (旧INWES-J) へ会員の派遣及び運営参画	通年	都内	6名	海外を含む女性技術者不特定多数	10
	APNN (Asia & Pacific Nations Network)でのミーティング及びICWSTEM(International Conference of Woman in Science, Technology, engineering & Mathematics)参加	6月25-28日	ウランバートル	6名	海外を含む女性技術者約200名	20
	日中韓女性科学技術指導者フォーラムにおける発表	8月	ソウル	1名	海外を含む女性技術者不特定多数	0
	日韓女性技術士交流会の開催	10月22-24日	チュンチョン	5名	日韓女性技術士約15名	18
その他目的を達成するための必要な事業	ウェブサイトによる法人事業の普及啓発のための情報発信	随時	—	1名	一般不特定多数	8
	定期的広報誌「ニュースレター」の発行及び印刷、送付	発行：4回 送付：2回	都内	8名	一般不特定多数	12
	見学会「ジオエコツアーへ行こう」実施	6月	高尾山	3名	21名	10
	会パンフレット印刷	6月	—	6名	不特定多数	4
(2) その他の事業 なし						

27年度 活動計算書

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 女性技術士の会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	183,000	
協力会員受取会費	28,000	
賛助会員受取会費	50,000	
2 受取寄附金		
受取寄附金（福島学生支援として）	40,000	
受取寄附金（指定なし）	9,000	
3 受取助成金等		
受取補助金	0	
4 事業収益		
	0	
5 その他収益		
受取利息	201	
経常収益計		310,201
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
(1) 科学技術発展のための普及啓発事業		
① 冊子「理系の仕事って?」改訂版制作		
会場費	3,300	
印刷費	70,632	
振込手数料	216	
② 震災復興支援事業－理工系女子学生を応援		
シンポジウム招待	40,000	
③ 関連団体が実施する催事への参加		
日本技術士会	4,000	
(2) 女性の職域に関する啓発事業		
① 関連団体が実施する催事への参画（夏学）		
印刷費	4,181	
交通費	4,000	
運搬費	1,010	
② シンポジウム（11月28日開催）		
講師交通費	36,000	
会場費	2,160	
会議費	15,280	
② ポートフォリオVol.2増刷		
印刷費	174,902	
(3) 国際会議における交流事業		
① 日韓女性技術士交流会		
交際費（お土産代）	18,226	
交通費（来年度会場下見）	8,000	
振込手数料	108	
② JNWES参画		
JNWES会費	10,000	
交通費（APNN発表）	20,000	
振込手数料	324	
(4) 仕事と調和を目指した社会基盤整備啓発事業		

(5) その他目的を達成するために必要な事業			
① サイト維持費	7,642		
② 会パンフ印刷	4,104		
③ 「ニュースレター」の印刷および送付	11,906		
④ 見学会	10,000		
⑤ 新年会	18,000		
その他経費計	463,991		
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
総会費用	32,700		
会場費 (理事会)	15,400		
会場費 (各部会)	2,200		
交通費 (理事会出席)	36,000		
住民票、印紙	900		
消耗品費	928		
事務用品費	3,520		
運搬費	5,553		
交際費 (弔慰、お礼)	47,890		
その他経費計	145,091		
事業費計		609,082	
経常費用計			609,082
当期経常増減額			(298,881)
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計		0	
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計		0	
税引前当期正味財産増減額			(298,881)
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			(298,881)
前期繰越正味財産額			1,272,026
次期繰越正味財産額			973,145